

试卷编号: B

河南师范大学

二〇一〇年硕士研究生入学考试业务课试卷

科目代码: 622 名称: 基础日语 适用专业或方向: 外国语言学及应用语言学
(必须在答题纸上答题, 在试卷上答题无效, 答题纸可向监考老师索要)

- 次の文の _____ にはどんな言葉を入れたらよいか。最も適当なものを一つ選びなさい。(2×15=30点)
- (1) この原稿執筆のペースからすると、締め切り予定には間に合わないことがわかっていた。
1. うすうす 2. ようよう 3. だんだん 4. とんとん
- (2) 今回の失敗によって、今後の私達の活動にどんな _____ があるかがわかった。
1. 目的 2. 課題 3. 結果 4. 評価
- (3) ちょっとしたことでもそんなに怒る _____ 考えもしなかった。
1. ばかりで 2. とは 3. のに 4. ように
- (4) このプランは、太郎の考えたプランの焼き直し _____。
1. になったことだ 2. ばかりだ 3. にすぎない 4. のことだ
- (5) ぼくの飼っている猫は最近元気がない _____ 思える。
1. ほとん 2. ように 3. ことに 4. ために
- (6) 私はベルー料理を食べた _____ ありません。
1. もの 2. こと 3. の 4. か
- (7) あなたが何故遅刻したの _____ が私にはわからない。
1. もの 2. こと 3. の 4. か
- (8) 私は、休みの日には音楽を聞く _____ です。
1. もの 2. こと 3. の 4. か
- (9) 約束というものは、必ず守る _____ ですよ。
1. はず 2. べき 3. わけ 4. つもり
- (10) 会議は1時に始まる _____ ですが、まだ誰も来ていませんよ。
1. はず 2. べき 3. わけ 4. つもり
- (11) 外国語を勉強したといってもりゆうちょうに話せる _____。
1. ためではない 2. べきではない 3. わけではない 4. はずではない
- (12) 現代人は便利なものに価値観を見い出そうとする _____。
1. きらいがある 2. きざしがある 3. いわれがある 4. よゆうがある
- (13) フランスは各国の抗議運動 _____、核実験を続けている。
1. をもとに 2. をめどに 3. をたてに 4. をよそに
- (14) 終了のベルが鳴る _____、いっせいに学坐たちは退場した。
1. と思えば 2. とたんに 3. やいなや 4. ついでに

(15) このあたりは店_____少ないが、静でいいところです。

1. さえ 2. だけ 3.こそ 4.すら

二. 次の日本語を中国語に訳しなさい (2×5=10点)

1. 安かろう安かろう。
2. 年(とし)が明けた。
3. その手でいかななくてはうそだ。
4. 諸経費は1万円ではあがらない。
5. 両者の意見が平行したままで話は終わった。

三. 次の中国語を日本語に訳しなさい (2×5=10点)

1. 大敌当前, 必须停止内讧, 团结一致。
2. 好诗的内容与形式是浑然一体, 天衣无缝的。
3. 行车时间请勿与司机随意谈话。
4. 时隔两年重夺冠军, 他感到扬眉吐气。
5. 机关算尽太聪明, 反误卿卿性命。

四. 次の本文を読んで、後の問いに答えなさい。(3×5=15点)

思考の整理学

これまでの教育では、人間の頭脳を、倉庫のようなものだと見てきた。知識をどんどん蓄積する。倉庫は大きければ大きいほどよろしい。中にたくさんのものが詰ってあればいるほど結構だとなる。

せっかく蓄積しようとしている一方から、どんどんものがなくなっていくはことだから、忘れるな、が合言葉になる。ときどき在庫検査をして、なくなっていないかどうかをチェックする。それがテストである。

倉庫としての頭にとっては、忘却は敵である。博識は学問のある証拠であった。ところが、こういう人間頭脳にとっておそろべき敵があらわれた。コンピューターである。これが倉庫としてはすばらしい機能をもっている。いったん入れたものは決して失わない。必要なときには、さっと、引き出すことができる。整理も完全である。

コンピューターの出現、普及にともなって、人間の頭を倉庫として使うことに、疑問がわいてきた。コンピューター人間(問1)をこしらえていたのでは、本物のコンピューターにかなうわけがない。

そこでようやく創造的人間ということが問題になってきた。コンピューターのできないことをしなくては、というのである。

人間の頭はこれからも、一部は倉庫の役をはたし続けなくてはならないだろうが、それだけではいけない。新しいことを考え出す工場でなくてはならない。倉庫なら、入れたものを紛失しないようにしておけばいいが、ものを作り出すには、そういう保存保管の能力だけではしかたがない。

第一、工場にやたらなものが入っていては作業能率が悪い。よけいなものは処分し

て広々としたスペースをとる必要がある。それかと言って、すべてのものをすててしまつては仕事にならない。整理が大事になる。

倉庫にだって整理は欠かせないが、それはあるものを順序よく並べる整理である。それに対して、工場内の整理は、作業の邪魔になるものをとり除く整理である。

この工場の整理に当ることをするのが、忘却である。人間の頭を倉庫として見れば、危険視される忘却だが、工場として能率をよくしよう（問2）と思えば、どんどん忘れてやらなくてははいけない。

そのことが、いまの人間にはよくわかっていない。それで工場の中を倉庫のようにして喜んでいる人があらわれる。工場としても、倉庫としてもうまく機能しない頭を育ててしまいかねない。コンピューターには、こういう忘却ができないのである。コンピューターには倉庫に専念させ、人間の頭は、知的工場に重点をおくようにするのが、これからの方向でなくてはならない。

それには、忘れることに対する偏見（問3）を改めなくてはならない。そして、そのつもりになってみると、忘れるのは案外、難しい。

例えば、何か突発の事件が起つたとする。その渦中の人、あまりのことに、あれもこれもいろいろなことが一時に殺到する。頭の中へどんどんいろいろなことが入ってきて、混乱状態におちいる。茫然自失、どうしていいかわからなくなる。これが「忙しい」のである。「忙」の字は、心（りっしんべん）を亡くしていると書く。忙しいと頭が働かなくなってしまう。頭を忙しくしてはいけない。がらくたのいっばいの倉庫は困る。

平常の生活で、頭が忙しくしてはいけない。人間は、自然に、頭の中を整理して、忙しくならぬようになっている。

睡眠である。

眠ってからしばらくすると、レム(REM)睡眠というものが始まる。マブタがピクピクする。このレムの間に、頭はその目のうちにあつたことを整理している。記憶しておくべきこと、すなわち、倉庫に入れるべきものと、処分してしまつてよいもの、忘れるものとの区分けが行なわれる。自然忘却である。

朝目をさまして、気分爽快であるのは、夜の間、頭の中がきれいに整理されて、広々としているからである。

（外山滋比古「思考の整理学」より）

〔設問〕

問1、本文中に「コンピューター人間」という言葉があるが、次の文章はこのことを説明したものである。あとの(1)・(2)の問いに答えなさい。

コンピューター人間とは、頭を倉庫として使い、(A)だけの人間をたとえて言ったものである。それと対照的な人間が(B)である。

- (1)、(A)にあてはまる言葉を本文から10～15字でそのまま抜き出ささい。
(2)、(B)にあてはまる言葉を本文から5字でそのまま出ささい。

問2、本文中の「工場として能率をよくしよう」という文の中の「工場」とは、人間の頭脳のどのような働きをたとえたものか。本文から10字でそのまま抜き出さない。

問3、本文中の「忘れることに対する偏見」という内容の意味を具体的に表している部分を本文から10字以内でそのまま抜き出さない。

問4、本文で述べられている内容として最も適切なものを次から一つ選びなさい。

- ①頭脳に知識をできるだけ多く詰め込んでおいてこそ、それをうまく引き出すことによって創造的な働きが可能になる。
- ②コンピュータは保存保管の能力に優れているので、人間の仕事をすべて任せてしまうことが可能である。
- ③人間の頭脳が創造的な働きをするためには、適度に忘れることによって頭の中をきれいに整理しておくことが大切である。
- ④能率的に作業をするためには、まず今までの知識をすべて捨て去り、脳をいったん白紙の状態にすることが必要である。

五、次の文章を読んで後の問いに答えなさい。(共35点)

東京で生まれ育った私が京都に強く惹かれる理由は、①その辺りにあります。色々な土地から人が集まってくる都市である東京は、②平等な街です。お金があればどんな物も買うことができるし、どんなサービスでも受けることができる。共同体意識も希薄なので、余所から来た人が思わずジーンとするような(A)もしないかわりに、余所者を(B)することも無い。古くから住んでいる人であろうと昨日東京に引越してきた人であろうと、似たような暮らしができるのが、東京という街です。

それは「見たまんまの街」ということでもあります。分かりやすい例で言えば、たとえば、あるレストランに裏メニューが存在したとしても、雑誌の「裏メニュー特集」なんて記事になぜかそれが載っていて、裏にする意味なんて別に③ないんじゃないか、ということになっていたりする。東京という街の(C)さが、裏を裏のままで放っておいてくれないと言うこともできましょう。

対して京都には、裏が裏として存在しています。裏という言い方に(D)があるとしたら④裏日本とか今は言っではいけないみたいです、「奥」と言ってもいいのかもしれない。通りに面した入り口から入ると奥へ奥へと細長く続く町屋の建物のように、歴史も人も味も芸も、重層的に(E)されているように見える。⑤東京人の私としては、見慣れぬ「奥」のほの暗さが珍しくて、ついそちらの方に行きたくてたまらなくなるのです。

京都にしる、東京にしる、またニューヨークにしる、ロンドンにしる、都市に住む人は、「世の中には、いろんな人がいますよね」ということを経験として知っているものです。都市には絶えず外の世界から人がやってきますから、一々⑥□□者を珍しがっている暇はない。隣にいる人が、たとえ手掴みでカレーを食べていようと、バッグを頭に載せて運んでいようと、

「変なの！」

とジロジロ見たりせず、

「⑦まあ、そういう人もいるでしょう」

という見方をすることになる。

しかしその時、京都の人と東京の人とでは、微妙にとらえ方が違うような気もするのです。東京の人は、隣に手でカレーを食べる人がいたら「へえ」なんて思って自分もその人と一緒に手でカレーを食べてみて、さらには家に帰っても「なるほどね」と手でカレーを食べ続けたりする。

対して京都の人も、「へえ」なんて思って手でカレーを食べる一瞬はあれど、家に帰ったら、「⑧とはいえないなあ」と、お匙でカレーを食べる。

「私とは違う人」を奇異な存在として見ないのは同じでも、東京は「違う人」を飲み込んで⑨均一に消化していくのに対して、京都にはたくさんの「違う人」達が、細かくそして厳密に分けられつつ共存している。東京のフラットさと、京都の重層感の違いは、その辺りにあるのではないのでしょうか。

[設問]

問一 A～Eの空欄に当てはめるべき熟語を次より選び、記号で答えなさい。

(2点×5=10点)

ア 親切 イ 平等 ウ 不平等 エ 融和 オ 排除
カ 構成 キ 正直 ク 貪欲 ケ 対立 コ 語弊

問二 傍線部①「その辺り」とは何をさすか、次より該当するものを選び、記号で答えなさい。(2点)

- ア 京都やその周辺には名所旧跡が多く、訪れるのに適していること
- イ 京都には表面からではわかりにくい隠された魅力があること
- ウ 東京に比べて社寺が多く、観光地として大勢の人が観光に来ること
- エ 京都は古都として見所が多く、料理なども優れていること

問三 傍線部②「平等な街」を最も具体的に表現している一文を抜き出し、最初と最後の五文字を答えなさい。(2点)

問四 傍線部③「ないんじゃないか」の語句の働きとして、次より該当するものを選び、記号で答えなさい。(3点)

- ア 「ないのでは」という疑問 イ 「ないのだ」という否定
- ウ 「ないのではないか」という反語 エ 「ないのではしかたがない」という諦観

問五 傍線部④「裏日本とか今は言っではいけないみたいですし」とあるが、その理由を説明しなさい。(3点)

問六 傍線部⑤「東京人の私としては」に込められている意識はどのようなものか、次より適当なものを選び、記号で答えなさい。(3点)

- ア 先進地東京に住む都会人の優越感 イ 近年発展した東京への劣等感
- ウ ともに都会に住む者としての共感 エ 古都京都への羨望の思い

問七 傍線部⑥の空欄にあてはめるべき熟語を、文中より選んで答えなさい。(2点)

問八 傍線部⑦「まあ、そういう人もいるでしょう」と同じ意味を表す部分を、文中

より 11 文字で抜き出し答えなさい。(2 点)

問九 傍線部⑧「とはいえない」に表現されている心情はどのようなものか、次より
 選び記号で答えなさい。(3 点)

- ア おもしろいとは思いますが、同調はできない
- イ とてもその気にはなれない
- ウ 全く関係がない
- エ うらやましく思いまねてみたい

問十 傍線部⑨「均一に消化していく」とはどのような意味か、次より適当なもの
 を選び、記号で答えなさい。(3 点)

- ア 物事を客観的に識別し、よい者だけを吸収すること
- イ 事の善悪を無視して何でも吸収すること
- ウ 物事を十分に理解し自分のものとする
- エ 常に冷静に判断し違和感のある者を全て排除すること

問十一 この文章を参考にして、東京と京都の違いについて考察し、簡潔に説明しな
 さい。(2 点)

六、次の古文を読んで後の問いに答えなさい。(10 点)

a 仁和寺にある法師、年寄るまで b 石清水を拝ま A ざりければ、心うく覚えて、あ
 る時思ひ立ちて、ただひとり c 徒歩 B より まうでけり。極楽寺・高良などを d 拝みて、
 かばかりと心得て帰りに C けり。

さて、かたへの人にあひて、「年ごろ思ひつること、果たし侍り。聞きしにも過ぎ
 て、尊くこそおはしけれ。そも、参りたる人ごとに山へ登りは、何事かあり、ゆかし
 かり、神へ参るこそ本意(ほい)なれと思ひて、山までは見ず。」と ぞ言ひける。少
 しのことにも、先達はあらまほしき事 D なり。

問 1、下線をつけた言葉の読み方を平仮名で書きなさい。(4 点)

a 仁和寺 b 石清水 c 徒歩 d 拝みて

問 2、次の格助詞と助動詞の意味を現代日本語で説明しなさい。(4 点)

A ざりければ B より C けり D なり。

問 3、「こそ本意(ほい)なれと思ひて、山までは見ず。」と ぞ言ひける」の中の「こ
 そ……なれ」、「ぞ……ける」はどのような結び方か。(2 点)

七、次の文章を読んで、自分の考えを 800 字ほど書きなさい(40 点)

この国は自然が味方してくれたからね。今でも国土の 7 割から 8 割が森林でしょう。
 何千年もその森の中で生きて来たから日本民族の遺伝子の中に、すっかり森林文化が
 定着した。私はこれが実は日本人の弱点と思うのです。

森には動物がいるし、実もなる。飢えに苦しむこともなく穏やかに生きて来られた。
 ただ目の前にあるいばらを折ったり、手がかき分けたりして進んできた。器用になっ
 た。が、必然的に、いかに対応するかということだけが自分の仕事になってしまった。
 目の前にある枝を上手に折る、道を作る。そんな仕事だけに明け暮れる HOW 文化がす

べてになったんです。(中略)

その致命的な欠陥は、遠くが見渡せないこと。木の葉や枝があるから遠い所を見渡す文化が育たなかった。

欧米や中国の文化は砂漠文化です。そこではオアシスを見つけなければ生きられない過酷な状況で生き抜いてきた。必死に現状に耐えて遠くを見なければ死に至る。自分で方向を見定め、自分の足でそこにたどり着く。なぜこっちへ進むべきなのか、本当にこれでいいのか、命がけで自分に問いかけながら生きるのが砂漠の WHY 文化なんです。

そういう視点で日本民族を見ていると、政治でも経済でも、そして外交でも、目の前のことでどうしよう、どう対応しようということばかり考える。なぜこうなったのかを考える遺伝子がない。それを自覚しないとね。

(中坊公平「広く見よ、遠くを見よ」2003年3月30日付朝日新聞朝刊による)